

継続的オンライン対応希望の申し出について

一橋大学言語社会研究科修士・博士後期課程のみなさん

来年度の大学院の授業は今年度同様基本的に対面になります。ただし一部の継続的に大学に来られないと考えられる方には、可能な限りオンラインで対応することになっています。希望者は下の各項目に記した内容に従って対応してください。

なお今後も状況により種々の変更の可能性がありますので、言語社会研究科のWebサイトを定期的にチェックしてください。

各授業における継続的オンライン対応希望の申し出

1) 申し出られる学生の範囲：

以下の(1)～(4)の事情により、新年度授業開始(4/11)から当分の間（おおむね1ヶ月以上）一橋大学に来校するのが困難と見込まれる学生。

- (1) 渡航のためのビザなどが取得できない、滞在国からの出国または日本への入国が認められないなどで、日本に入国できない場合
- (2) 本人が基礎疾患を有するなど重症化のリスクが高い場合
- (3) 同居家族の重症化リスクなど、事情があつて対面授業に参加することができない場合
- (4) その他上記(1)～(3)に準ずる場合

2) 1) に該当する学生のみなさんをお願いする対応：

・上記のような諸事情により当分学校へ来られない場合には、春夏学期に履修したい科目の教員に直接連絡をとって、履修方法について相談してください。その際、以下の事項を書き添えてください。ただし今回お願いするのは、言語社会研究科の科目についてです。

- a) 氏名
- b) 受講予定の科目
- c) 継続的なオンライン対応を行ってもらふことを希望する理由
- d) 大学の学生用Gmailの使用可能性(*1)
- e) d) 以外の使用を希望するメールアドレス
- f) Googleクラスルームや、Zoomの使用可能性

3) ゼミについて：

ゼミについては、別紙「2022年度言語社会研究科ゼミ選考のご案内」のように、ゼミ指導教員により4月よりも早い時期から受付を始める場合もありますので、シラバス(*2)を参照して、適切な時期に相談を行ってください。

4) 教員に対する申し出の期限：

履修登録期間の終わる4月15日（金）までとします。ただし授業準備上とくに事情があればシラバスに書きますので、注意してください。

5) 連絡先 :

各授業のシラバスを確認し、指定のメールアドレス宛てに、あるいは記載されている指示に従って、担当教員に直接連絡してください。

(*1) 滞在国によってはGmailが読めない場合もあるようですので、お尋ねします。

(*2) 一橋大学のWebシラバスシステムは、CELSです。（「一橋大学 CELS」で検索してください。入学前でもごく一部の項目以外見られます。）諸事情による急な対応等のために書き直されることもありますので、随時参照し最新の情報をチェックしてください。

以上